

令和8年6月24日  
第22回高齢者医薬品適正使用検討会  
資料2

# 令和8年度事業について

厚生労働省 医薬局 医薬安全対策課

# ポリファーマシー対策について（高齢者医薬品適正使用検討会の取組）

高齢者においては、複数の併存疾患を治療するための医薬品を多数服用することによって、多剤服用による害を生じる「ポリファーマシー」に陥りやすい状況にある。

そこで、「高齢者医薬品適正使用検討会」を開催し、多剤併用時の適正使用情報（重篤副作用の発見・対処、薬剤選択情報（推奨薬と安全性））を中心に、有害事象回避のための処方見直し等の具体的な方法について定めた指針の策定、アップデートを行うとともに適正使用情報を効果的に周知する方法等について検討を行っている。

## これまでの事業内容

- 平成30年度 **高齢者の医薬品適正使用の指針策定**
- 令和元年度 **療養環境別の指針**を策定
- 令和2年度 「**病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方**」（業務手順書）の策定
- 令和3年度 指針・業務手順書を特定の病院で実際に運用し、**有効性の検証・課題の抽出**
- 令和4年度 令和3年度の延長で地域（病院、薬局、介護施設等）で実際に運用し、**有効性の検証・課題の抽出**
- 令和5年度 令和3、4年度事業の成果を踏まえた**指針及び業務手順書の見直しを実施**
- 令和6年度 地域におけるポリファーマシー対策の実施環境整備、指針・手順書の普及啓発
- 令和7年度 **ポリファーマシー対策の効果の検証調査及び普及啓発資材の作成**

## 令和8年度の取組

- **高齢者の医薬品適正使用の指針、療養環境別の指針の改訂**
- **国民（患者）のポリファーマシーに対する意識調査**
- **令和7年度調査で得られた調査結果の追加解析**



# 高齢者事業における今後の取組みについて（案）

令和7年12月25日  
第21回高齢者医薬品適正使用検討会  
資料2

## 現状と課題の整理

- 高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服用等によって、安全性の問題が生じやすい状況があることから、平成29年4月に「高齢者医薬品適正使用検討会」を立ち上げ、高齢者の薬物療法に関する安全対策等の調査・検討を進めている。
- 本検討会では、高齢者の薬物療法における課題の整理と対策の検討を行うとともに、既存の疾患領域別ガイドライン等も参考にしつつ、高齢者の医薬品適正使用に関する指針の作成等を行っており、平成30年5月に「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」を、令和元年6月に「高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別）」）をとりまとめた。
- 今般、指針の参考としている「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」が、2025年版として改訂された。また指針 発出から約7年が経過しており、医療DXが普及していく中で、電子処方箋やマイナ保険証等の医療環境の変化について指針に盛り込む必要がある。

## 今後の取組みの方向性（案）

- 令和8年度は、「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」「高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別）」）について、改訂された「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」の内容を盛り込むとともに、現状の医療環境等に照らして必要な改訂を実施してはどうか。
- あわせて、現状のポリファーマシーに関する状況の調査や、令和7年度調査で得られた調査結果の追加解析等を実施してはどうか。